



勝浦ロータリークラブ

50期 THE WEEKLY REPORTS

2012 - 2013年度

No. 16 / Total 2348

例会：2012年12月7日

発行：2012年12月14日

RI会長 田中 作次

第2790地区ガバナー 得居 仁

第5分区ガバナー補佐 古市 一雄

第5分区幹事 島田 誠一

第2790地区地区委員
ロータリー財団委員会
勝浦RC 関 一憲
新世代奉仕委員会
鴨川RC 羽鳥 鋭一

勝浦ロータリークラブ
会 長 古川 範男
幹 事 中村 満

クラブ会報委員長 小林 悠紀
副委員長 渡邊 ヒロ子
委 員 渡邊 昌俊
関 一憲

◆12月7日(金)のプログラム

ゲスト卓話

現役海女 宮内 陽子 氏

『漁村に生まれて』

◆12月の例会予定

【家族月間】

- ・12月14日(金)
年次総会
- ・12月21日(金)
卓話
- ・12月25日(火)
夜間家族会
クリスマス夜間例会
- ・12月28日(金)
休会

●会長挨拶 古川範男会長



12月5日に衆議院選挙が公示されて、いまや選挙戦たけなわです。町を歩いていると、欲望のカタマリのような顔つきをした人物の顔写真ばかりが溢れていて不愉快極まりないのですが、もう少しの我慢です。皆さんにはどうか誤りのない選択をして頂きたいと思います。

さて、今月は「家族月間」とうことなので、多少その趣旨に合うような話をとします。

皆さんはこちらの四字熟語を御存じでしょうか。「飲水思源」と書いてインスイゲンと読みます。私の友人で作家の佐高信さんが最近著した本のタイトルに使っています。広辞苑にもまだ載っていない中国の言葉で、「水を飲む時にはかつてその井戸を掘った人のことを思いなさい」というぐらいの意味でしょうか。この本自体は、徳間書店の創業者である徳間康快の評伝と言ってもよい本ですが、徳間の破天荒な人生を見事に描いています。

徳間書店は、芸能とゴシップを扱う週刊誌で大人の欲望をそそり、一方で子供向けの絵本も出すという振幅の広さを持っています。老若男女から支持される出版社です。この広さは徳間康快、その人の器量でもあったのです。最初は読売新聞の記者だったのですが、レッドページで退社し、ヤクザの週刊誌と言われた「週刊アサヒ芸能」を創刊。経営不振に陥った東京タイムズを引き受け、破綻した映画会社、大映の再建にも乗り出しました。いまやアニメの大御所、宮崎駿に早くから目をつけて支援していました。まあ、実に多くの文化の種をまき、芽を育てていたんですね。

徳間がいなかったら、今の宮崎駿はなかったかも知れません。スタジオ・ジブリのアニメを見る時には徳間のことを思い出さなくては、

という気にさせます。ことほど左様に、様々な文化や文明のルーツを遡ると、必ずと言って良いほどに徳間のような人物に行き当たります。

先日、私の友人の尾塩さんが卓話で、ペルーに骨を埋めた天野芳太郎の話をしてくれましたが、天野がいなければ、日系人のフジモリがペルーの大統領になるなどということはなかったと思います。天野もやはり、後の人のために井戸を掘ってくれたのです

彼らは、われわれロータリアンとして、規範とすべき種類の人間ではないでしょうか。

そしていろいろな場面で源に思いをはせることは、人間しかできないこと、人間の幅を広げることになるでしょう。決して猿にはできません。そのことによって、自分の立ち位置も、より鮮明に見えてくると思います。

我々はこうして毎週ロータリーの例会に出てきますが、家族のサポートがあってこそだということも、忘れてはいけないことです。「健全な活動は健全な家庭があってこそ」です。家庭は対外活動の「源」なのです。

●幹事報告 中村満幹事

1. 2790 地区より RYLA セミナー開催の案内が届いています。
2. 館山ベイ、千倉、鋸南 RC より例会の変更のお知らせが届いています

●池田会員の御子息が御結婚されました。



12月1日の土曜日に福岡で結婚式がありまして、お嫁さんをもらったはずなのに、婿にやったような状態です。どうもありがとうございました。

●委員会報告

◆社会奉仕委員会 釜田英之委員

委員長から来週、ロータリー希望の風奨学金の御支援の募集を一口千円以上でさせていただきたいと思います。

◆ロータリー財団委員会 村石愛二委員

委員長からの伝言です。ポール・ハリス・フェローをぜひ皆さんにお願いしたいという事で、来週募集をかけるそうです。宜しくお願いします。

●ニコニコBOX

○本人誕生日

◆渡邊ヒロ子 君



今日これを頂けるという事をすっかり忘れ、来る途中お化粧品屋さんへ寄ってしまい、財布の中身空っぽで来てしまいました。頑張っていきたいと思います。

◆中村満 君



昨日で62歳になりました。この洋服は32年前の入社式の洋服です。今日は見せに来ましたので宜しくお願いします。

◆水野敬泰 君



今日で74歳になりました。皆様のお力をお借りして50周年いい方向性で終わらせたいと思っております。

○配偶者誕生日

◆手塚明宏 君



11月16日に53歳になりました。ありがとうございます。

○結婚記念日

◆千葉正徳 君



多分39周年です。孫が七歳と五歳で七五三を迎えまして、今日は内祝いを兼ねて残金を入れてあります。ありがとうございました。

◆渡邊昌俊 君



19回目の結婚記念日でした。子供から言われ、一日遅れで気が付いたという状況です。20年目は陶器婚と言うそうです。まだまだ割れやすいという事なのでしょう。来年に向けて頑張っていきたいと思えます。

◆高梨薫敏 君



39回目の結婚記念日でした。晩飯を食べるときになって、そういえば今日結婚記念日だったねと女房に言ったら、もう少し朝早くから分っていれば御馳走を用意したのと言われました。いつも通りの素食で終わってしまいました。

●11月11日に開催された、国際RC2790地区第5分区のゴルフ大会で、高梨会員が準優勝されました。牧野会員は4位でした。おめでとうございます。

●卓話：現役海女 宮内 陽子 氏
『漁村に生まれて』



こんにちは、宮内と申します。いま古川さんからご紹介頂き、海女の専業にというお言葉を頂いたのですが、実は専業に就いてまだ一年間なんです。そのきっかけが何かというと、私、ずっと仕事をしてまして、子供が小学校に入学するにあたって、自分で子供にいつてらっしゃいとお帰りなさいを言いたくて仕事を辞めるって宣言したんです。その前は、子供が一歳半くらいの頃から葬儀屋さんに勤めてまして、朝は早く、夜も遅い生活をしておりまして、私自身も両親が共働きだったんですね。それで、寂しい思いをさせているのかなと思いつながらも、私は自分が育つときに祖父母が半農半漁の状態です。必ず家にいる、家にいなくても、家のそばの畑か田んぼや港にいるという生活をしていたので、一人きりになるという思いをあまりしたことがなかったんです。やっぱり一人娘なので、一年くらいは子供につきっきりで、お母さんに集中するのもいいかなと最初は軽い感じで始めたのがきっかけなんです。
～宮内さんはその後、お父様が定年退職をして漁師になったのをきっかけに、自分が漁師であることを実感し、本格的に海女になる事を決意されたそうです。そして、自分の都合で仕事ができる海女と子育てを両立し、日々頑張られているそうです。宮内様、ありがとうございました。～

出席報告 12月 7日 (金)

出席委員会 前田安彦委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
35名	27名	4名	4名	88.57%

※11月30日の出席率は91.42%でした。